

2009年3月期 第3四半期決算説明会

井関農機株式会社

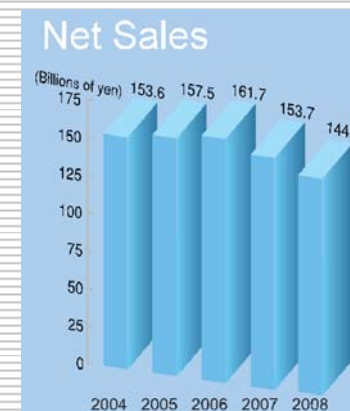
副社長 南 健治

2009年2月18日

目次

1. 2009年3月期 第3四半期業績の概要
2. 国内外市場の動向
3. 2009年3月期 通期業績予想
4. 農業環境の展望

1. 2009年3月期 第3四半期業績の概要



第3四半期業績の概要

(単位：億円、%)

科 目	07/3Q 累計		08/3Q 累計		前年 同期比 増減	08/3Q 計画	計画比 増減
	金額	比率	金額	比率			
売上高	1,061	100.0	1,146	100.0	+85	1,154	△8
(国内)	919	86.6	975	85.1	+56	975	-
(海外)	142	13.3	171	14.9	+29	179	△8
売上総利益	326	30.8	353	30.8	+27	351	+2
販管費	325	30.7	328	28.7	+3	331	△3
営業利益	1	0.1	25	2.2	+24	20	+5
経常利益	△1	△0.1	18	1.6	+19	16	+2
四半期純利益	△14	△1.3	9	0.8	+23	5	+4

国内売上高の内訳

(単位：億円)

	07/3Q 累計	08/3Q 累計	前年 同期比		08/3Q 計画	計画比	
			増減	備考		増減	備考
整地機	209	226	+17	トラクタ：+13	225	+1	
栽培機	90	113	+23	田植機：+23	105	+8	田植機：+8
収穫調製機	168	177	+9	コバイン：+4	186	△9	コバイン：△14
農業機械計	467	516	+49		516	-	
作業機・部品	214	229	+15	作業機：+12	225	+4	
施設工事	28	27	△1		28	△1	
農機関連 ^(*1)	134	136	+2		137	△1	
その他 ^(*2)	76	67	△9	OEM建機：△5	69	△2	
合計	919	975	+56		975	-	

*1 修理収入、農業用資材等

*2 コイン精米収入等

海外売上高の内訳

(単位：億円)

	07/3Q 累計	08/3Q 累計	前年 同期比 増減	備 考	08/3Q 計画	計画比 増減
北 米	33	49	+16	OEM先へトラクタ出荷増加	49	-
欧 州	70	69	△ 1		70	△ 1
アジア	25	29	+ 4		34	△ 5
(内、中国) *	(11)	(20)	(+ 9)	田植機、コンバイン堅調	(20)	-
オセアニア	3	8	+ 5		8	-
製品 計	131	155	+24		161	△ 6
部品その他	11	16	+ 5	Eg +5	18	△ 2
合 計	142	171	+29		179	△ 8

* 中国の売上は1～9月の実績

営業利益

(単位：億円、%)

科目	07/3Q 累計		08/3Q 累計		前年 同期比 増減	08/3Q 計画	計画比 増減
	金額	比率	金額	比率			
売上高	1,061	100.0	1,146	100.0	+85	1,154	△8
売上原価	735	69.2	793	69.2	+58	803	△10
売上総利益	326	30.8	353	30.8	+27	351	+2
販管費	325	30.7	328	28.7	+3	331	△3
営業利益	1	0.1	25	2.2	+24	20	+5

※前年同期比

[減益要因]

- ・ 原材料価格高騰 : △13
- ・ 為替レート差 : △7
- ・ 在庫評価法の変更による影響 : △4
- ・ 販管費（物流費等）増加 : △3

[増益要因]

- ・ 増収による粗利増 : +26
- ・ 固定費等改善 : +13
- ・ 在庫減による利益率改善 : +5
- ・ リストラ効果 : +5
- ・ その他 : +2

経常利益、四半期純利益

(単位：億円)

	07/3Q 累計	08/3Q 累計	前年 同期比 増減	08/3Q 計画	計画比 増減
営業利益	1	25	+24	20	+5
金融収支	△9	△9	-	△9	-
その他営業外収支	7	2	△5	5	△3
経常利益	△1	18	+19	16	+2
特別利益	14	6	△8	6	-
特別損失	△16	△6	+10	△7	+1
税前利益	△3	18	+21	15	+3
税、税調整額	△11	△9	+2	△10	+1
四半期純利益	△14	9	+23	5	+4

※前年同期比増減要因

[営業外収支]	為替評価差損等	: △5
[特別利益]	有価証券売却益等	: △8
[特別損失]	特別退職加算金等	: +10

バランスシート

(単位：億円)

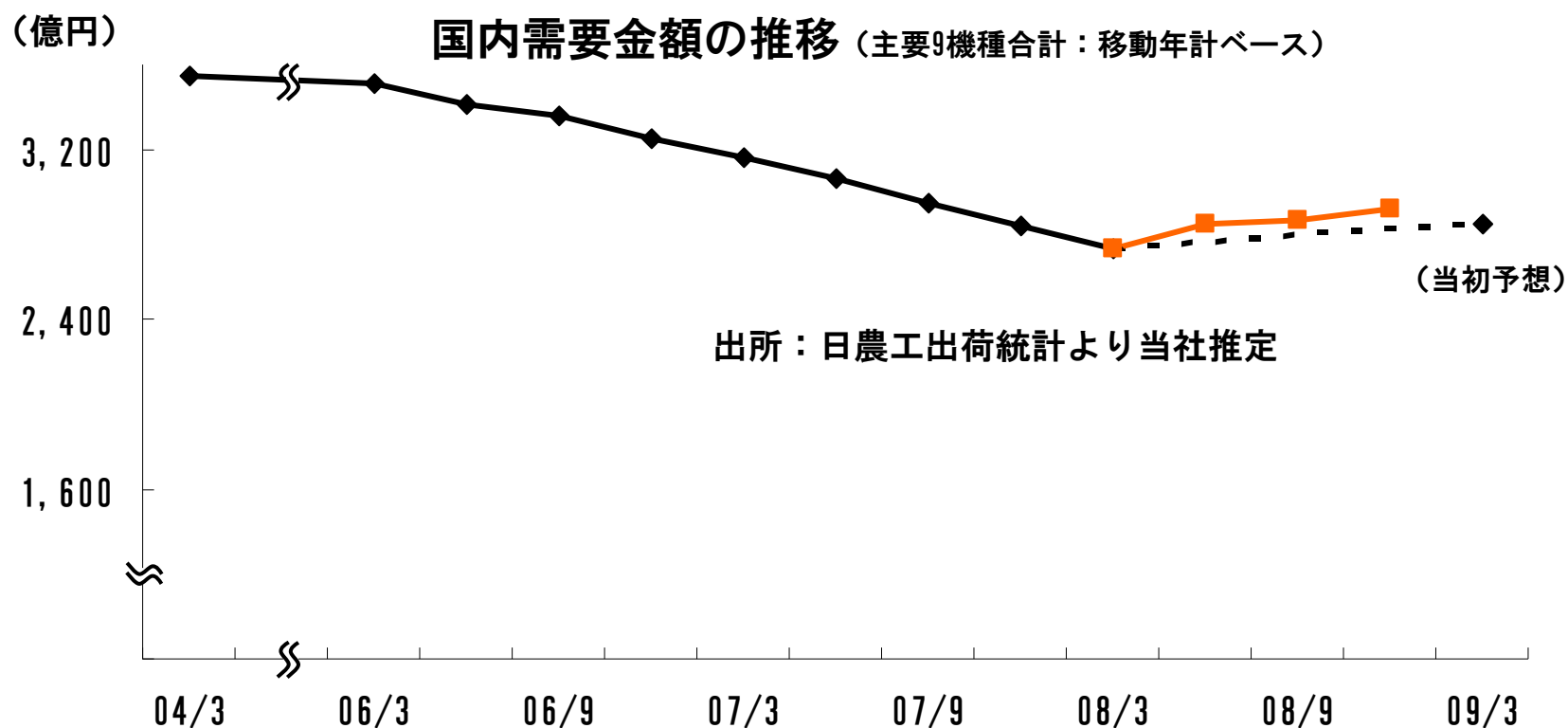
科 目	07/12 実績	08/12 実績	前年同期比 増 減	(参考) 08/3実績
現金・預金	69	99	+ 30	58
売掛債権	342	290	△ 52	289
棚卸資産	448	414	△ 34	426
(うち製品在庫)	(280)	(259)	(△ 21)	(271)
その他流動資産	37	32	△ 5	34
固定資産	912	893	△ 19	925
資産合計	1,808	1,728	△ 80	1,732
支払手形・買掛金	401	424	+ 23	408
借入金・社債	667	566	△101	579
その他負債	210	209	△ 1	220
(負債計)	(1,278)	(1,199)	(△ 79)	(1,207)
純資産	530	529	△ 1	525
(うち利益剰余金)	(42)	(50)	(+ 8)	(41)
負債・資本合計	1,808	1,728	△ 80	1,732

2. 国内外市場の動向



国内農機需要の推移

農機需要の推移（見通し）



- ・今年に入り市場は回復基調
- ・6月、7月農機メーカー一値上前の駆け込み需要により市場が活性化

国内農機市場の状況

1. 国内農機業界出荷と当社実売

※主要9機種金額ベース、伸長率（単位：％）

※日農工出荷統計より当社推定

	07年 1月～12月	08年 1月～12月
業界（出荷）*	93	102
当社実売	93	109

- ・ 業界出荷は、市場が活性化、緩やかな回復基調が継続。
- ・ 当社実売は、主要製品が堅調に推移し全体を押し上げ。

国内農政の足下の動き

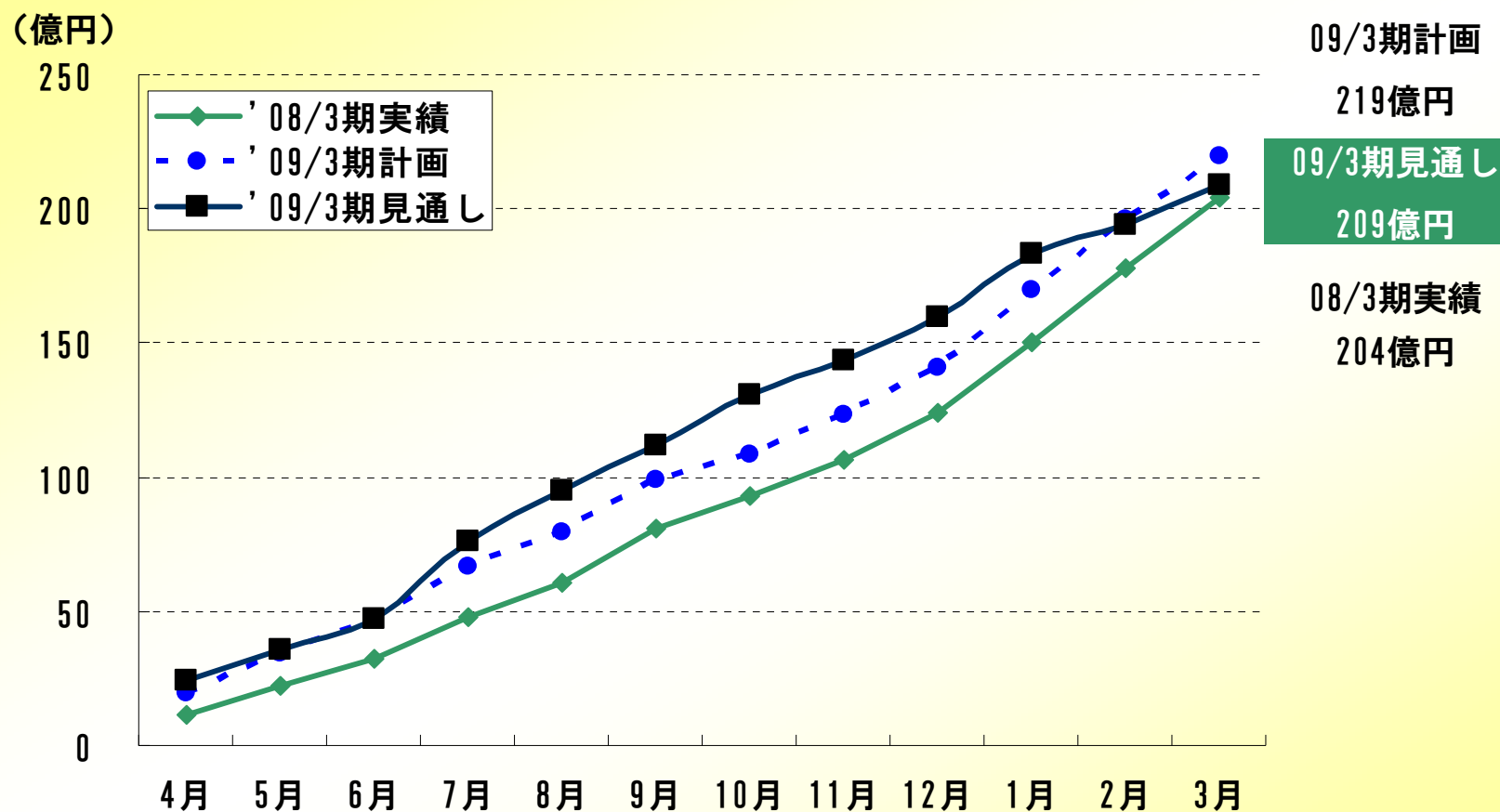
[食料自給率50%に向けた工程表（概ね10年後 40% → 50%へ）]

- ・ 米粉 : 1万t → 50万t
- ・ 飼料米 : 1,500t → 26万t
- ・ 小麦 : 91万t → 180万t

[食料供給向上緊急機械リース支援事業]

- ・ H20年度 第2次補正予算 50億円
- ・ 農業機械の総リース料の一部（購入額の1/2以内）
- ・ リース方式で、新たに機械を導入（中古機不可）
- ・ 対象者：担い手（認定農業者、集落営農組織、法人等）
- ・ 対象機種
 - ①：生産性向上に資する農業機械
 - ②：品質向上に資する農業機械
- ・ H21年2月16日公募開始

海外製品売上の直近の状況



09/3期計画
219億円

**09/3期見通し
209億円**

08/3期実績
204億円

•09/3期見通しは受注ベース

海外市場の動向（北米）

1. 北米コンパクトトラクタ市場 ※エンジン50PS (PT040PS) 以下、芝刈機は含まない。

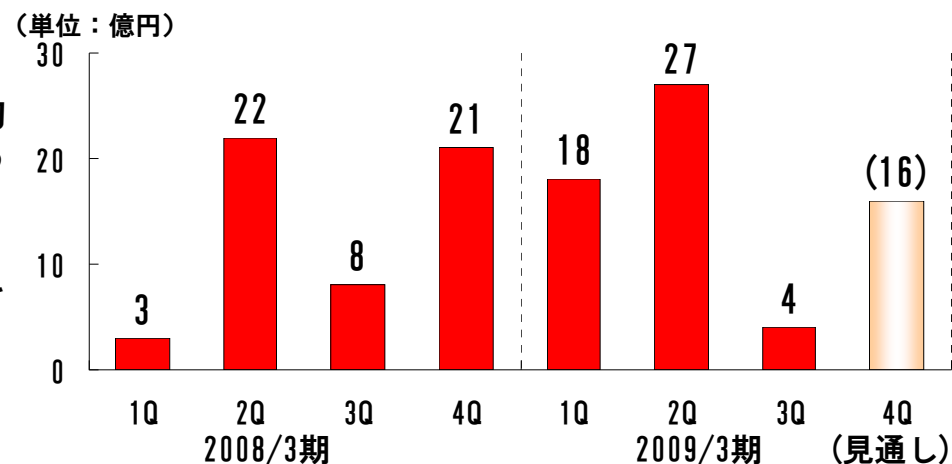
	07/1~12月	08/1~12月	前年同期比	
				(%)
米 国	116	99	△17	85
カナダ	12	14	+ 2	121
北米 計	128	113	△15	89

(単位：千台)

出所：AEM統計（米国機器製造者団体：Association of Equipment Manufacturers）

2. 当社出荷の推移（北米）

- ・ 1~12月OEM取引先実売は、積極的な推進策が奏功し、市場を上回って推移。
- ・ 当社の出荷は、景気後退の影響を受け、受注の勢いは減少するも、計画達成の見通し。



海外市場の動向（欧州）

1. 欧州市場の動向

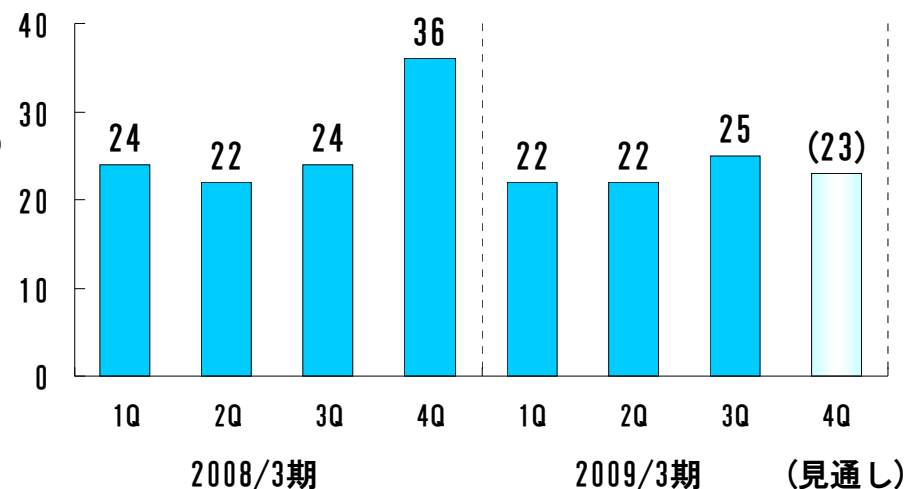
景観整備市場

- ・ 地域別に格差、全般的に秋以降プロ市場は減速傾向

2. 当社出荷の推移（欧州）

- ・ 欧州代理店の実売は、冬シーズン一部地域暖冬の影響で苦戦するも、仏が牽引し、1~12月は前年対比110%
- ・ 当社出荷は、2Qまで計画が遅れるも、3Qで前年並みを確保。但し、景気後退、為替の影響で4Qの受注減。

（単位：億円）



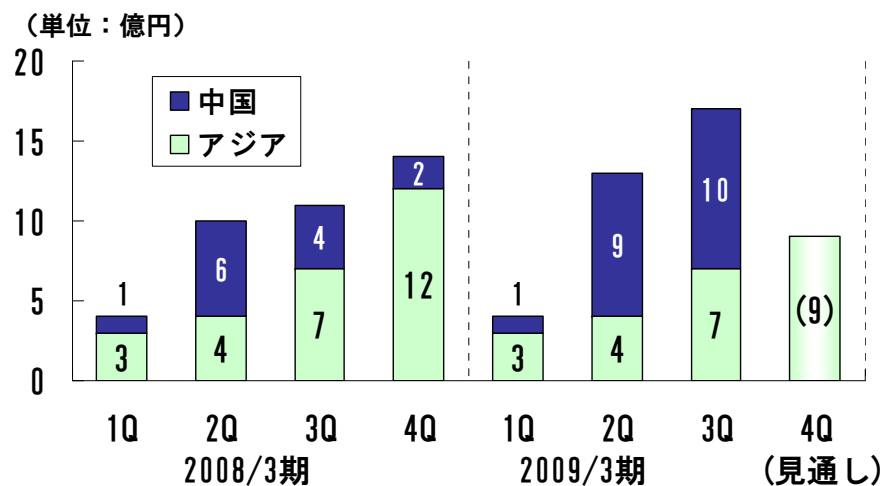
海外市場の動向（アジア）

1. アジア市場の動向

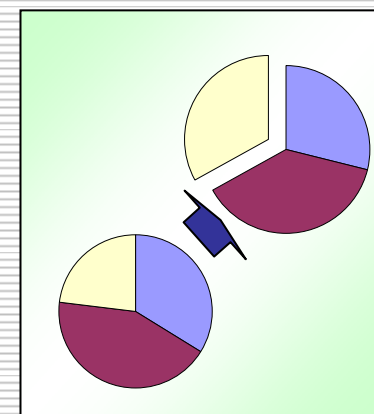
- ・ 中国 農業機械化政策の強い後押しにより市場拡大 田植機が牽引
- ・ 東南アジア 稲作増産政策によりトラクタ以外の稲作機械も市場拡大傾向

2. 当社製品売上の推移（アジア）

- ・ 中国
市場の拡大にあわせ田植機、コンバインとも引続き堅調。
- ・ 韓国
昨年出荷した新型トラクタの実売は好調。3Qまでは順調な出荷も、4Qはウォン安の影響により出荷抑制。
- ・ 東南アジア
38hpトラクタ投入し順調、ほぼ計画通り。



3. 2009年3月期 通期業績予想



2009年3月期 通期業績予想の修正

(単位：億円)

科 目	09/3期				増減	08/3期 参考	増減
	3Q累計 実績	4Q 見通し	通期 今回予想	通期 11/13公表			
売上高	1,146	354	1,500	1,525	△25	1,447	+53
(国内)	975	295	1,270	1,285	△15	1,227	+43
(海外)	171	59	230	240	△10	220	+10
営業利益	25	△10	15	29	△14	7	+8
経常利益	18	△16	2	19	△17	0	+2
当期純利益	9	△15	△6	8	△14	△15	+9

※第4四半期想定為替レートは、米ドル：89円、ユーロ：117円
 ※前回業績予想は11/13公表

・円の急騰を受けた海外売上の減少と国内の景気悪化に伴う先行き不透明感から
 通期業績予想を下方修正

業績予想の修正（国内売上高の内訳）

(単位：億円)

	09/3期		増減	08/3期 実績	増減
	前回予想 <small>11/13公表</small>	今回予想			
整地機	290	280	△10	269	+11
栽培機	133	140	+7	115	+25
収穫調製機	257	238	△19	242	△4
農業機械計	680	658	△22	626	+32
作業機・部品	292	293	+1	279	+14
施設工事	40	40	-	40	-
農機関連	179	183	+4	176	+7
その他	94	96	+2	106	△10
合計	1,285	1,270	△15	1,227	+43

* 整地機 : トラクタ、管理機等
 栽培機 : 田植機、野菜移植機
 収穫調製機 : コンバイン、乾燥機、籾摺機等

農機関連 : 修理収入、農業用資材等
 その他 : コイン精米収入、一般商品、(サム電子)等

業績予想（海外売上高の内訳）

(単位：億円)

	09/3期		増減	08/3期 実績	増減
	前回予想 11月13日	今回予想			
北 米	64	65	+ 1	54	+11
欧 州	99	92	△ 7	106	△14
アジア	47	43	△ 4	39	+ 4
(内、中国)	(20)	(20)	-	(13)	(+ 7)
豪州他	9	9	-	5	+ 4
海外製品計	219	209	△ 10	204	+ 5
部品その他	21	21	-	16	+ 5
合 計	240	230	△ 10	220	+10

※第4四半期想定為替レートは、米ドル：89円、ユーロ：117円

業績予想（営業利益の内訳）

(単位：億円)

科 目	09/3期				増減	08/3期 参考	増減
	3Q累計 実績	4Q 見通し	通期 今回予想	通期 11/13公表			
売上高	1,146	354	1,500	1,525	△25	1,447	+53
(国内)	975	295	1,270	1,285	△15	1,227	+43
(海外)	171	59	230	240	△10	220	+10
売上原価	793	242	1,035	1,045	△10	996	+39
売上総利益	353	112	465	480	△15	451	+14
販管費	328	122	450	451	△1	444	+6
営業利益	25	△10	15	29	△14	7	+8

※11/13公表 業績予想からの増減益要因

[減益要因]

- ・ 減収による粗利減 : △ 9
- ・ 棚卸資産評価損 : △ 3
- ・ 為替レート差 : △ 3

[増益要因]

- ・ 経費削減等 : + 1

※下期：原材料価格高騰△4億円は織り込み済み

※第4四半期想定為替レートは、米ドル：89円、ユーロ：117円

業績予想（経常利益、当期純利益）

(単位：億円)

	09/3期		増減	08/3期 実績	増減
	前回予想 <small>11/13公表</small>	今回予想			
営業利益	29	15	△14	7	+ 8
金融収支	△13	△12	+ 1	△12	-
その他営業外収益	11	11	-	14	△ 3
その他営業外費用	△ 8	△12	△ 4	△ 9	△ 3
経常利益	19	2	△17	0	+ 2
特別利益	6	6	-	15	△ 9
特別損失	△ 7	△ 8	△ 1	△20	+12
税、税調整額	△10	△ 6	+ 4	△10	+ 4
当期純利益	8	△ 6	△14	△15	+ 9

【増減要因】

[その他営業外費用] 為替評価差損 : △4

今後の対応策

[コスト低減委員会の設置]

急激な景気後退に対応するため、井関グループ
 全部門のコスト低減を推進するための基本方針と
 施策の立案と実績フォローを行う。

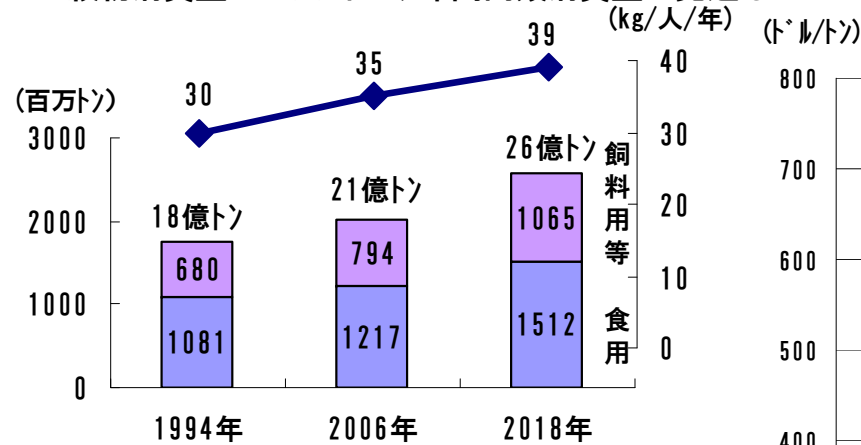
- 新機種開発における部品個数削減
- 低下傾向にある原材料の購入価格への早期反映
- グループ全体を見た最適な調達の実施 等

4. 農業環境の展望

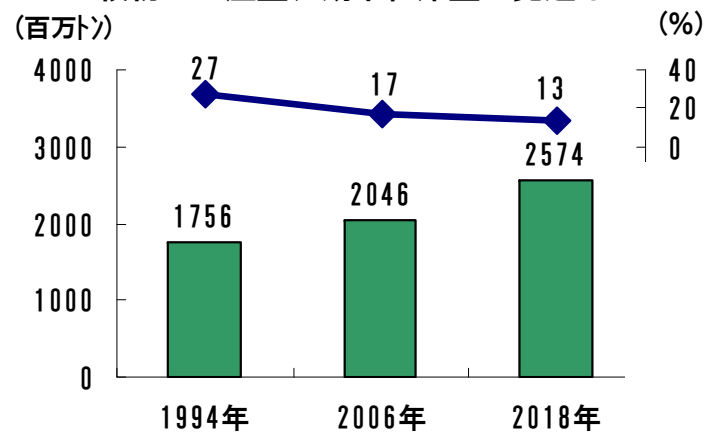
世界の食料需給の中長期的な見通し

—中長期的に世界の食料需給のひっ迫化傾向は継続、価格も高い水準で推移—

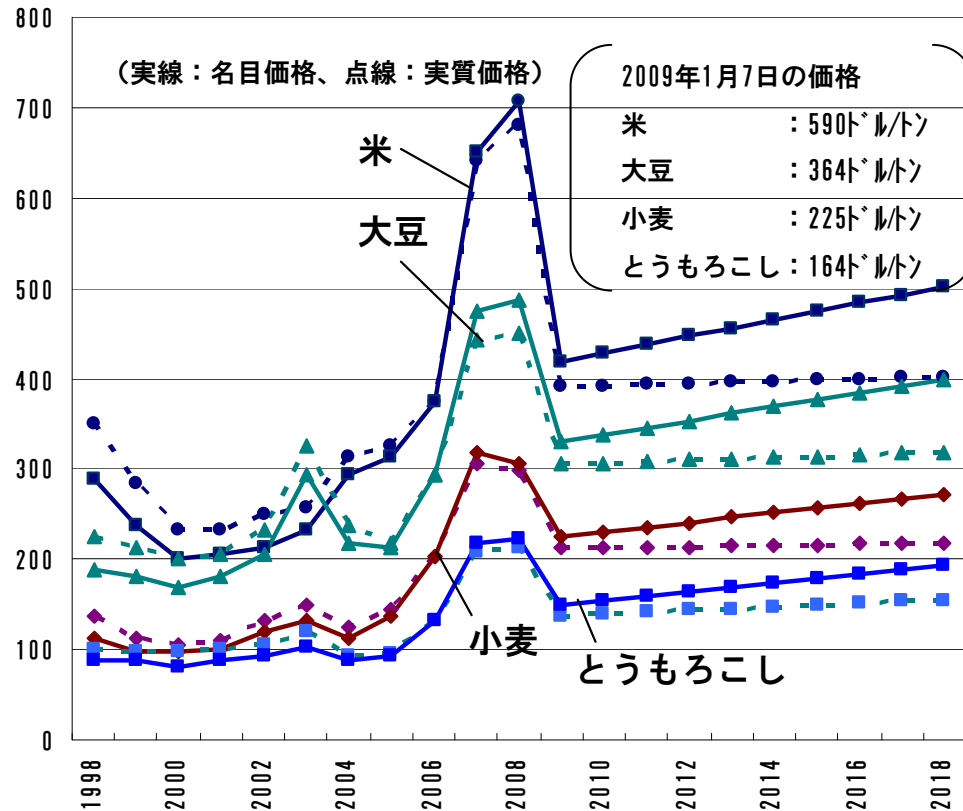
穀物消費量と1人当たり年間肉類消費量の見通し



穀物の生産量、期末在庫量の見通し



穀物及び大豆の国際価格の見通し



資料：農林水産省「2018年における世界の食料需給見通し

—世界食料需給モデルによる予測結果—より

国内農政の今後の動向

食料自給率向上政策を基軸とした農業の低コスト化

1) 水田フル活用（食料自給率50%に向けた工程表）

・ 耕作放棄地での営農再開	：	10万ha	新規確保	耕地利用率110%へ
・ 新規需要米（米粉・飼料米等）	：	20万ha		
・ 水田裏作（麦類の作付）	：	36万ha		

2) 21年度産主食米の生産目標 815万t（20年度と同じ：需要減に歯止め）

3) 21年度農林水産予算 2兆5,605億円

- ・ 水田等有効活用自給力向上総合対策 2,889億円 [水田のフル活用]
米粉、飼料米の作付及び、耕作放棄地の解消等に助成
水田等有効活用促進交付金の助成要件（低コスト農業に取組）

4) 今後の検討事項

- ・ 経済産業省と農林水産省による「植物工場本格普及」→ 食料の安定供給と雇用確保
- ・ 農地法の改正および、農業生産法人への企業出資制限緩和 → 企業参入総合支援
- ・ 農政改革6大臣会合 → 新たな食料・農業・農村基本計画の策定に向けて

将来に向けての取り組み

1. 多目的機＋高速点播機の開発 「平成20年12月発表」

37株疎植田植機、うね内部分施用機に続く、低コスト、省力、省エネ機

- ・ 田植機において作業機の付け替えが可能（移植機、除草機、溝きり機等）
- ・ 直に種を播く直播機、慣行の苗を植える移植機を併用することで
低コスト、省力化、労働時期の分散 → 農業経営規模拡大



新商品PVZ80と
直播部ユニット

2. 車輻方向制御技術の開発

大規模農家、農業生産法人の低コスト、省力化に向けて

- ・ 本装置にトラクタと自動操舵機構を組み合わせることによって自動運転トラクタとなり、耕うん、畝立て、バレイショ収穫、畦塗りなどを自動で行う。



画像処理カメラ



自動運転テスト風景

3. 愛媛大学と「知的植物工場」の共同研究

農林水産省、経済産業省「植物工場」普及にむけて補助金制度今後創設

- ・ 養液栽培施設の進化系 → 食の安心・安全、更なる増収・安定収量の確保
企業参入に向けて井関グループの新たなビジネスモデルの創造



「植物工場用農業ロボ」

将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。
 本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。